



日本で覚えた救急法。
三角巾、うまく巻けましたよ。

第2回第4(近畿)ブロック合同青少年赤十字国際交流事業として、マレーシア赤新月社の指導者6人、メンバー6人の計12人が、日本とマレーシアメンバーの相互の文化交流をはじめ、両国の赤十字活動を肌で感じてもらうことを目的に、9月1日から7日までの7日間の日程で来日しました。

初日と2日目は、各支部がそれぞれ指導者及びメンバーを受入れ、兵庫県支部はメンバーの1人メリアンヌさん

を迎えました。メリアンヌさんはホームステイ先となった国際高校の住野先生宅でつづろぎ、日本特有の畳やお風呂の蓋に興味を持ち色々な質問をしていたようでした。

2日目の午後からは大阪府高石市の羽衣青少年センターで12人が再集結。各支部の指導者およびメンバーも合流しました。兵庫県支部からは指導者として国際高校の住野先生、親和中学校の馬場先生、三好先生、そして青少年赤十字メンバーからは国際高校の村上さん、親和中学校の藤原さんが参加し、今回の最大の目的である異文化交流集会の開催となる計画でした。

ところが、近畿各地に大きな被害をもたらした台風12号の影響により、3日目に予定していた羽衣学園高等学校への訪問が中止となり、プログラムを変更。みんなで日本の救急法を体験することになりました。午後からは大阪の清明学院高等学校少林寺拳法部の皆さんが少林寺拳法を披露してくださいました。

交流当初は、互いに緊張し、硬い表情でしたが、次第に和ぎ笑顔の絶えない国際交流集会となりました。

講習会開催



青少年赤十字メンバー・指導者対象 赤十字救急法基礎・救急員養成講習会



夏休みを利用して、みんなで一緒に受けてみませんか？

8月22日から24日までの3日間、日本赤十字社兵庫県支部で「青少年赤十字メンバー・指導者対象赤十字救急法基礎・救急員養成講習会」を開催し、兵庫県内の学校7校から青少年赤十字メンバー、指導者(先生)12人が参加しました。

赤十字救急法は、不慮の事故や急病に対する応急手当(「一次救命処置」「さずの手当」「骨折の固定)などの知識と技術を習得することを目的としています。今回も、先生と生徒と一緒に受講生となり、学校現場で事故等が起こった時、迅速・的確に対応ができるようにと、懸命に取り組んでいました。

この講習会は、高校生以上の青少年赤十字メンバーと指導者のみを対象として、夏休み期間中に毎年1回実施しています。もちろん教えるのも加盟校の指導者です。

青少年赤十字加盟校の指導者、メンバーの皆さま、このような機会を利用して、大切ないのちを守り、健康で安全な毎日を送るための技術と知識を身につけるための講習を受けてみませんか？

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

日本赤十字社では、ケガや病気、災害から自分自身を守り、けが人や病人を正しく救助し、救急隊員等へ引き継ぐまでの正しい知識、技術を学ぶ講習会を開催しています。

また、興味はあっても、長い時間をかけて受講することができない方には、AEDだけ、介護だけ……のような短時間の科目別講習も行っています。

健康で安全な生活をおくるための基礎知識です。どうぞお気軽に受けてみてください。

内容		開催日
救急法基礎講習		12月4日(日)
救急法救急員養成講習(2日間)		11月12日(土)・13日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)		11月26日(土)・27日(日)・12月3日(土) 12月17日(土)・18日(日)・23日(金・祝)
科目別講習	健康生活支援講習	「災害時高齢者生活支援(災害が起こった時、支援できること)」 11月17日(木) 10:00~12:00 「癒しの看護・やさしいスキンケア(リラクゼーション)」 11月17日(木) 13:00~15:00
	救急法講習	「さずの手当」 11月17日(木) 15:30~17:30

- 開催場所は、いずれも日本赤十字社兵庫県支部です。



パソコンから

詳細及びその他の講習についてはホームページで

赤十字 兵庫 検索

www.hyogo.jrc.or.jp

ひょうごの 赤十字

2011 10月1日



Contents

特集

- 西播磨赤十字奉仕団研修大会
- 兵庫県日赤有功会の血液事業支援
- 大型台風、立て続けに近畿地方に被害
- World First Aid Day キャンペーンイベント
- 第2回第4(近畿)ブロック合同青少年赤十字国際交流事業
- 青少年赤十字メンバー・指導者対象赤十字救急法基礎・救急員養成講習会
- 講習のご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
tel. 078-241-9889 fax.078-241-6990
URL http://www.hyogo.jrc.or.jp/



西播磨赤十字奉仕団研修大会

～災害時に地域の力となるように～



開会の挨拶をする、たつの市赤十字奉仕団
岸本委員長



災害時には癒しの看護で気持ちを和らげます

8月26日、兵庫県立西播磨リハビリテーションセンターふれあいスポーツ交流館（たつの市）で、西播磨赤十字奉仕団研修大会が開催されました。この研修大会は、毎年、西播磨地域の相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町の4市3町の地域赤十字奉仕団の持ち回りで開催されており、今年हतつの市赤十字奉仕団の主催で行われ、各地域赤十字奉仕団の団員をはじめ、地域の消防団員や小学生などの皆さんが参加して開催されました。午前中は、屋外の広場で炊き出し用の大釜を使って炊き出し訓練を行いました。毎年参加されている方も多くあることであって、テキパキと手際よく作業が行なわれ、アルファ化米の五目御飯が出来上がり、盛り付けもスムーズに行わ

れていました。そのほか、ワンタッチテントの設営訓練を行い、手をはさまないように、ピンの抜き挿しするタイミングをみんなで声を掛け合いながら取り組んでおられました。午後からは、体育館での研修です。傷病者が発生したことを想定して、実習用人形を相手にAEDを用いた心肺蘇生法の実習、アイマスク・車いすの体験、また、歌に合わせて手遊びをする癒しの看護を行いました。皆で協力しあい様々な体験をすることで、災害時にその成果が発揮されることに繋がっていく、有意義な研修となりました。

兵庫県日赤有功会の血液事業支援

～献血された皆さまへ「防災グッズ」～



軍手の下にある小さなパッケージが、
圧縮されたもの

兵庫県日赤有功会の様々な活動のひとつに血液事業支援があり、献血していただいた方への記念品の提供等を行っています。皆さまに喜んでいただけるものを、ということで今年は防災グッズの「タオル・軍手の圧縮セット」です。兵庫県赤十字血液センターでは9月を「400mL献血強化月間」としています。1日の「防災の日」、9日の「救急の日」にちなんでこの記念品を提供することで、更なる献血推進を図ることとしました。輸血用血液の確保は1年365日、常に必要なことですが、「輸血」と「災害」との結びつきは強く、災害発生時には多くの方が「今、自分にできること」として、献血をしてください。災害で傷ついた方々を救いたい、被災地では血液製剤が不足しているのでは、といった強い防災意識の表れなのかもしれません。そんな皆さまにはこの記念品、大変喜んでいただけたのではないのでしょうか。



大型台風、立て続けに近畿地方に被害

～床上浸水等多発 台風12号～

9月2日に暴風域を保ったまま北上し、四国地方に接近した台風12号。近畿地方にも被害が予測されたため、兵庫県支部では同日9時に災害警戒本部を設置。24時間体制で情報収集にあたりました。3日、10時前に高知県東部に上陸し、その後ゆっくりと北上を続け、四国、中国地方を縦断。このため近畿地方にも大きな被害が発生。県内では姫路市、高砂市をはじめ、17市5町が床上浸水等の住家被害を受けた他、多くの住民に避難勧告が出され、不安な時間を過ごしました。5日、被害が多く出た姫路市から救援物資の要請があり、毛布150枚、緊急セット102セットを搬送しました。また、日本赤十字社近畿ブロック内では和歌山県、奈良県の被害が大きく、当支部からは、6日に和歌山県支部へ緊急セット204セットをトラックに積み込み搬送。和歌山県到着後、その足で片道4時間半の道のりを新宮市まで救援物資を届けました。さらに8日には奈良県支部へ安眠セット400セットを搬送しました。



和歌山県支部
に到着



多可赤十字病
院の駐車場も
浸水の被害に



淡路市へ
緊急搬送



一宮事務所

～広い範囲で土砂災害に警戒 台風15号～

台風12号が近畿地方から離れて間もなく、激しい雨と暴風を伴う強い台風15号が兵庫県に接近。この台風により、神戸市、姫路市、淡路市など県内の多くの地域が土砂災害警戒対象地域となりました。これまでに降った大雨により、土砂災害の危険性が特に高まった淡路島。20日17時20分、淡路市から要請があり、毛布100枚を直ちに一宮事務所へ搬送。18時10分、再度淡路市から連絡があり、今度は毛布300枚を津名事務所へ搬送しました。淡路市ではこの日、志筑地区全域を始めとする広い範囲の4,009世帯、9,506人を対象に避難勧告がでていました。



World First Aid Day キャンペーンイベント

～みんなでやってみよう、心肺蘇生法とAED～

赤十字は9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー」と位置付け、日本だけでなく、世界各地で救急法等の普及イベントを行っています。当支部でもこの日にちなんで、9月10日、イオン加西条ショッピングセンターで、ミニ講習会イベントを開催しました。テレビや街なかで見かけることが多くなったAED。関心を示す方も増えてきたようです。心筋梗塞等で、目の前で突然人が倒れたら……他人ごとではないと思っても、人の体に電気を流すなんてと思われる方も多くいらっしゃいます。AEDの使い方、心肺蘇生法を一緒に行うことの大切さを理解していただき、実際にやってみて、「難しい」という概念から「自分にもできるかも」と、思ってもらえることがこのイベントの目的です。「バスの運転手をしているので、こんなこともあるかもしれませんから、勉強になりました」と、職業柄一度やってみたかったという方や、他にも「以前に受けたことがあるんだけど」「せっかくの機会だから教えてもらいたい」と、関心の高さがうかがえました。この日は子供さんも多く、お父さん、お母さんが見守る中、一生懸命チャレンジして、「まずは、119番に電話だよ」と、指導員の言うことに素直にうなずく可愛らしい姿も見られました。いのちの大切さは、子供達にも伝わったのではないのでしょうか。



小さな受講
生がたくさん
心肺蘇生法
を覚えました